

2020 年度日本農村生活学会大会

(第 68 回大会)

プ ロ グ ラ ム

期 日：令和 2 年 10 月 17 日 (土) 13:00 ~ 17:00
10 月 18 日 (日) 9:00 ~ 15:10

会 場 (オンラインのホスト)：福島県男女共生センター (福島県二本松市)

★ シンポジウム 10 月 17 日 (土) 13:15~15:45

「福島から発信する新たな農的暮らし—震災・原発事故から 10 年を経て—」

座長：飯塚 里恵子 (千葉農村地域文化研究所)

パネリスト：

引地 知子 (あぶくま農と暮らし塾)

山崎 友子 (道の駅「さくらの郷」元代表理事、農家民宿「清峰園」)

千葉 悦子 (福島大学名誉教授、福島県男女共生センター館長)

★ ラウンドテーブル 10 月 18 日 (日) 13:00~15:00

「生活改良普及員 OG に聞く

— “生改” の活動経験を生かした女性起業・復興事業支援」

コーディネーター：鈴木 (是川) 邦子 (山形県農業総合研究センター)

話題提供者：太田 文代 (福島県生活改良普及員 OG)

コメンテーター：岩崎 由美子 (福島大学)

【第1日 10月17日(土)】

※zoom 接続開始 12:45

参加される方は、**zoom** のアプリケーションをお使いのパソコン、スマートフォン、**iPad** 等のタブレット端末にインストールの上、以下の**ID** とパスコードを入力してください。**12:45** の **zoom** 接続開始後、会場にオンラインで「入室」することができます。「入室」後、参加申込状況確認のためご氏名を画面に表示していただければありがたいです。マイクは原則オフ、画面はオフでも可とします。

ミーティング ID:
パスコード:

注) 会員の皆様には、すでに一斉メールにて ID とパスコードをお知らせしました。また、別途、郵送でもお知らせいたします。非会員の皆様におかれましては、参加申し込みをいただき次第、ID とパスコードをメール通知します。

zoom アプリのインストール、使い方については、以下の動画をご参照ください。

【初心者用動画】パソコンで **ZOOM** を使う方法・基本的な使い方を解説！PC 版ズーム

<https://www.youtube.com/watch?v=G8x0d88czPs>

ZOOM の基本的な使い方！スマホでもパソコンでもズームアプリでビデオミーティング！iPhone・タブレットでも使えます！！

<https://www.youtube.com/watch?v=uJFtwSJGLYQ>

(1) 開会挨拶 13:00 ~ 13:10

総合司会 : 知野 愛 (郡山女子大学短期大学部)
学会長挨拶 : 安倍 澄子 (元日本女子大学)
大会委員長挨拶 : 岩崎 由美子 (福島大学)

(2) シンポジウム 13:15 ~ 15:45

テーマ「福島から発信する新たな農的暮らし

—震災・原発事故から10年を経て—

座長: 飯塚 里恵子 (千葉農村地域文化研究所)

2020年度の日本農村生活学会大会シンポジウムが福島県で開催されるにあたり、大会委員会では、全体テーマを「福島から発信する新たな農的暮らし—震災・原発事故から10年を経て—」に設定しました。

早いもので、原発震災の発生からまもなく10年を迎えようとしています。交通インフラや公共施設の復旧・整備はほぼ完了し、「福島イノベーション・コースト（国際研究産業都市）構想」などの国家プロジェクトも本格始動するなど、福島は産業集積、地方創生のモデルとして復興・再生の途を確実に歩んでいるように見えます。

しかしながら、福島の経験と教訓を真に活かすには、機械化・大規模化・効率化といった従来の経済振興路線とは異なる、住民が主導するオルタナティブな復興の歩みにこそ注目する必要があるように思われます。

本シンポジウムの会場となる福島県二本松市の東部に広がる東和・岩代地域では、震災後、農家が主体的に行う放射能測定や除染、営農再開の取り組みのほか、女性が主体となった民宿経営や都市農村交流活動、地域文化活動などが積極的に行われてきました。

本シンポジウムでは、こうした取り組みを展開してきた女性に焦点を当て、彼女たちが地域復興の主体として成長してきたプロセスとその基盤や条件等について、社会教育の視点もふまえながら検討していきます。

新型コロナウイルス感染の広がりのなかで、グローバル資本主義や大都市一極集中型社会に対し大きな見直しが求められている今、人と自然、人と人、世代間、地域間の共生を基礎とした、3.11の先にある新しい農と暮らしのあり方について、福島の地から考えていければと思います。

座長解題

13:15～13:30

パネリスト報告：

- (1) 引地 知子（あぶくま農と暮らし塾）

「東和地域でつながって生きる」

13:30～13:50

- (2) 山崎 友子（道の駅「さくらの郷」元代表理事、農家民宿「清峰園」）

「仲間とともにひらく私 岩代地域 —3.11でも諦めなかったもの—」

13:50～14:10

- (3) 千葉 悦子（福島大学名誉教授、福島県男女共生センター館長）

「村を捨てない」女性たちのエンパワメントと社会教育実践

—原発災害に向き合って—

14:10～14:30

休憩

14:30～14:45

質疑応答とディスカッション

14:45～15:45

(3) 2020年度学会賞についての報告 **15:50 ～ 16:00**

(4) 学会総会 **16:00 ～ 17:00**

*総会終了後、翌日の一般報告報告者の接続テストを行います。報告者のうち総会に参加されている方はお残りください。総会に参加されていない方は**17:00**頃から「入室」してください。

【 第2日 10月18日(日) 】

※zoom 接続開始 8:45

第1日に参加された方は、同じIDとパスコードで「入室」してください。第2日から参加される方は、zoomのアプリケーションをお使いのパソコン、スマートフォン、iPad等のタブレット端末にインストールの上、2頁に記載したIDとパスコードで「入室」してください。「入室」後、参加申込状況確認のためご氏名を画面に表示してください。マイクは原則オフ、画面はオフでも可とします。

(1) 一般報告 (9:00 ~ 11:40)

1人20分(報告15分 質疑応答5分)

第1部 (9:00 ~ 10:00)

座長: 澤野 久美 (農研機構)

- ① 六次産業化に取り組む女性農業者のSNS利用実態とネットワーク形成における課題
東京農業大学大学院 ○稲垣 京子
東京農業大学 原 珠里
- ② 戦後農村女性の学びにみる主体性と農村民主主義
—二本松市東和地区の昭和ひとケタ生まれの女性を事例に—
千葉農村地域文化研究所 飯塚 里恵子
- ③ ブータン王国への生活改善活動導入の試み
玉川大学 太田 美帆

第2部 (10:00 ~ 11:00)

座長: 唐崎 卓也 (農研機構)

- ④ 「学校給食への地場食材供給」に対する意識についての一考察
—中部地方G県S会(食育の会)を対象として—
名古屋大学大学院 山田 浩子
- ⑤ 「『みんなのたからもの』ししゅう高田松原プロジェクト」世田谷展からみる手仕事「刺繍」の意義—農山村と都市の「生活文化」共有の視点からの検討—
昭和女子大学 粕谷 美砂子
- ⑥ 過疎山村集落における空き家の管理と所有者と集落の関わり
—長野県長和町小茂ヶ谷集落を事例として—
東京農業大学大学院 ○浅川 初音
東京農業大学 吉野 馨子

第3部 (11:00 ~ 11:40)

座長: 市田 知子 (明治大学)

- ⑦ わが国におけるムスリムフレンドリーの取組状況と地方圏での対応
東京農業大学 ○寺野 梨香
農林水産政策研究所 佐藤 真弓
- ⑧ 農業就業体験による学生の就農・就職意識の変化
—Realistic Job Previewによるスクリーニング効果に着目して—
三重県農業研究所 ○飯場 聡子
兵庫県立大学 山端 直人

(2) 休憩 11:40 ~ 13:00

(3) ラウンドテーブル 13:00 ~ 15:00

「生活改良普及員 OG に聞く

— “生改” の活動経験を生かした女性起業・復興事業支援 —

コーディネーター：鈴木（是川）邦子（山形県農業総合研究センター）

話題提供者：太田 文代（福島県生活改良普及員 OG）

コメンテーター：岩崎 由美子（福島大学）

(4) 閉会式 15:00 ~ 15:10

☆☆

大会参加費について

日本農村生活学会正会員	2,000 円
非 会 員	2,000 円
(ただし、シンポジウムまたはラウンドテーブルのみの参加者は無料)	
学生会員および非会員の学生	無料

☆☆

<大会参加申し込み方法>

★参加申込：参加される方は以下の事項を記載の上、

10月12日（月）18時までにメールにて

rlsj2020@meiji.ac.jp（日本農村生活学会総務委員会）にお申込みください。

記載事項：①ご氏名：

②ご所属：

③会員種別： 正会員・学生会員・非会員

④参加日程： 全日程・第1日のみ・第2日のみ

⑤参加費の領収書発行：必要・不要（正会員の場合のみ）

*領収書宛先等のご指定がある方は、その旨、お知らせください。ない場合は空欄にいたします。領収書はメールにて送付します。

⑥連絡先：メールアドレス：

携帯電話番号：

★大会参加費振込：正会員の方、および非会員でシンポジウム、ラウンドテーブル以外に参加される方は大会前日（**10月16日**）までに以下の口座に**2,000円**をお振込みください。振込手数料はおそれいりますがご負担ください。

銀行名：東邦銀行（トウホウギンコウ）【金融機関コード：0126】

支店名：蓬莱支店（ホウライシテン）【支店コード：119】

預金種目：普通預金

口座番号：566249

口座名義：日本農村生活学会福島大学大会（ニホンノウソンセイカツガツカイクフクシマダイガクタイカイ）

★大会参加費のお支払い後、やむをえないご事情により不参加の場合も原則として返金はいたしません。ご了承いただければありがたいです。

★第1日のシンポジウムのみ、第2日のラウンドテーブルのみご参加の場合でも、会員の方からは会費を頂きます。学会活動ご支援にご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

<大会に関する問い合わせ先>

第68回大会委員会 岩崎由美子
E-mail iwasaki@ads.fukushima-u.ac.jp

日本農村生活学会総務委員会 市田知子・澤野久美・高地紗世
E-mail : rlsj2020@meiji.ac.jp